

令和7年度 中学校等卒業後の状況調査の手引き

お問い合わせ先

担 当：宮城県教育庁高校教育創造室
 高校教育創造班

電 話：022-211-3617

F A X：022-211-3696

電子メール：kokyosoks@pref.miyagi.lg.jp

目 次

I	実施要領	1
1	調査目的	
2	調査対象	
3	調査事項	
4	調査日	
5	提出書類等	
6	提出期限	
7	提出先	
II	作成要領	2～5
1	入力上の留意点	
2	各区分における注意事項	
3	提出方法及び提出書類	
III	参考資料	6
IV	チェックリスト	7～10

I 実施要領

1 調査目的

学校基本調査（文科省）の「卒業後の状況調査票（中学校）」と併せて、中学校、特別支援学校 中学部、中等教育学校前期課程及び義務教育学校後期課程の卒業者等の進路状況をより詳細に調査し、県立学校の定員計画や学科改編等、教育行政上の諸課題への対応を検討する上での基礎資料を得るため実施するもの。

2 調査対象

- (1) 国立、公立及び私立の中学校の本校及び分校
- (2) 国立及び公立の特別支援学校の本校及び分校の中学部
- (3) 公立の中等教育学校（前期課程）及び義務教育学校（後期課程）

3 調査事項

- (1) 状況別卒業生数
- (2) 地区別・学校別・学科別等進学者数

4 調査日

令和7年5月1日現在の状況

5 提出書類等 ※提出の際の留意点については、P5「3 提出方法及び提出書類」を参照してください。

- (1) 調査票
- (2) 卒業式当日又は卒業生数分かる日の「学校日誌」等の写し
- (3) 【国立及び私立学校のみ】学校基本調査（文科省）の「卒業後の状況調査票（中学校）」
※ (1) は Excel、(2) 及び (3) はデータ (Excel、画像、PDF 等) により提出。

6 提出期限

令和7年5月14日（水）必着

7 提出先

宮城県教育庁高校教育創造室高校教育創造班宛て電子メールにより送信

電子メールアドレス：kokyosoks@pref.miyagi.lg.jp

Ⅱ 作成要領

1 入力上の留意点

- (1) 調査票の作成に当たっては、この作成要領及び学校基本調査（文科省）の手引きを参照の上、入力してください。
- (2) 調査票の作成には、作成者と卒業生の進路について熟知している教員（旧3学年主任や進路指導主事等）が密接に連携し、入力に誤りの無いようにしてください。
- (3) 学校基本調査（文科省）の「卒業後の状況調査票（中学校）」と照合し、整合性を図ってください。また、卒業生総数（調査票1ページ⑳の数）が卒業式当日又は卒業生数の分かる日の「学校日誌」等の在籍者数と一致しているか確認してください。
- (4) 卒業生の進路先での在学及び在職等の状況（5月1日現在）については、必要に応じ進路先等と連絡を取り確認してください。
- (5) 調査票は下記 URL よりダウンロードしてください。
なお、その際パスワードが必要となりますので、下記のとおり入力してください。
 - 調査票ダウンロード先 URL
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/souzou/sotugo-r5.html>
 - パスワード kisotugo
- (6) 調査票への入力は、該当する空欄部分に男女別の数値を入力してください。
なお、集計欄は自動計算されますので、入力は不要です（集計欄のセルは保護されています）。
- (7) 入力の際、数字は「半角の数字」で入力してください。
- (8) 該当のない欄は空欄のままにしてください（改めて0を入力する必要はありません）。

2 各区分における留意事項

(1) 調査票「1ページ」関係

※ 調査票は、1～6ページまであります。エクセル画面の下に1～6ページのシート見出し（色分け）がありますので、入力するページをクリックしてください。

① 学校調査番号

学校基本調査（文科省）の学校調査番号と同じ番号とします。各学校に割り振られている13桁の学校調査番号を入力してください。

なお、番号を入力すると、学校名も自動的に入力されます。

※ 統合先の学校で作成する場合は、旧学校ごとに調査票を作成してください。

（電話番号欄は作成した学校の番号を、校長氏名欄は【統合】と入力してください。）

② 「1 状況別卒業生数」

入力する箇所は、⑰E 就職者、⑱G 不詳死亡、再掲部分のAのうち⑳就職している者の部分です。該当者がいる場合、男女別にその人数を入力してください。また、内数として、特別支援学級卒業生数についても入力してください（他の調査項目も同様）。

その他の項目については、他の部分の入力結果を自動計算して反映されるので、入力は不要となります。

③ 「(8) 専修学校等進学者・入学者の状況」

イ 知事の認可を受けている学校へ進学・入学した者のみ入力してください。県内の学校については、本手引き6ページ「Ⅲ 参考資料」のB以降を参照してください。

なお、掲載されていない学校については、各都道府県担当部局（本県では総務部私学・公益法人課）又は当該校のホームページを参照するか、問い合わせをして確認してください。

ロ 専修学校には、高等課程と一般課程があるので確認してください。また、学校によっては、入学と同時に技能連携をしている広域通信制の高校に入学する場合があります。その際は、通信制高校に進学した者として調査票5ページ(3)「通信制課程」の欄に入力してください。

例：東北芸術高等専修学校⇒高卒資格を取得する場合は併修制度により北海道芸術高等学校(通信制、北海道)に進学した者として取り扱います。

ハ 公共職業能力開発施設等については、宮城県立各高等技術専門学校、宮城障害者職業能力開発校等が該当します。

ニ 備考欄には、(専)・(各)・(公)と表示し、学校名及び男女別及び特別支援学級卒別人数を入力してください。

例：(専)〇〇専門学校 男子2名 (うち特別支援学級卒男子1名)

④ 「(9) 左記以外の者の内訳」

イ 「国外留学」の場合は、留学先の国名等を備考欄に入力してください。

ロ 「上記以外」には、「家事従事、病気療養、就職待機、国外留学、施設等入所」以外に該当する人数を入力し、備考欄にその内容を入力してください。

ハ 「Fのうち、予備校等に入学している者」は、来年度高校受験をするために、予備校等への入学者、高卒認定試験の予備校等への入学者の数を内数で入力してください。また、その予備校名等を備考欄に入力してください。

例：在家庭で□□学習塾に通う (男子1名)

ニ 「Fのうち、来年度高校受験を予定している者」は、予備校等・在宅問わず、来年度高校受験を予定している者の人数を内数で入力してください。

(2) 調査票「2～4ページ」関係

① 「(1)全日制課程(高等学校)」

イ 国立

国立大学附属高等学校等に入学した者はこの欄に入力します。国立高等専門学校は調査票5ページ(6)「高等専門学校」に該当します。

県外への進学者になりますので、別枠となっている国立県外進学者先の箇所に学校名等を入力してください。

ロ 公立

公立高校(全日制課程)に入学した者はこの欄に入力します。

公立県外への進学者がいる場合は、別枠となっている公立県外進学者先の箇所に学校名等を入力してください。

ハ 私立

私立高校(全日制課程)に入学した者はこの欄に入力します。

私立県外への進学者がいる場合は、別枠となっている私立県外進学者先の箇所に学校名等を入力してください。

② 「(2)定時制課程」

イ 定時制高校に入学した者はこの欄に入力します。

ロ 県外への進学者がいる場合は、別枠となっている県外進学者先の箇所に学校名等を入力してください。

(3) 調査票「5ページ」関係

① 「(3)通信制課程」

イ 通信制サポート校への入学は、同時に広域通信制高校への入学となりますので、飛鳥未来きずな高校を除き、調査票5ページ県外進学先(3)-①の「県外私立」に提携先の広域通信制高校名を入力してください。(本手引き6ページ「Ⅲ 参考資料」を参照してください。)

ロ 広域通信制高校は、飛鳥未来きずな高校を除き、調査票5ページ県外進学先(3)-①の「県外私立」に入力してください。(本手引き6ページ「Ⅲ 参考資料」を参照してください。)

※ 仙台キャンパスや仙台学習センター等であっても、本校のある都道府県が所在地となります。

ハ 陸上自衛隊に入隊した生徒(陸上自衛隊高等工科学校生徒)は、入隊と同時に神奈川県立横浜修悠館高等学校通信制課程に入学するので、調査票5ページ県外進学先(3)-②「県外公立」に入力するとともに、調査票1ページ「②」にも入力してください。

※ 学校基本調査(文科省)の「卒業後の状況調査票(中学校)」「8 状況別卒業生数」の「通信制」、「8 状況別卒業生数(再掲)」の「c、j、q」欄及び「11 就職先の産業別就職者数」の「第3次産業・県外」欄にも入力が必要です。

② 「(4)中等教育学校(後期課程)」

イ 県内においては、仙台青陵中等教育学校が該当します。

ロ 県外への進学者がいる場合は、別枠となっている県外進学先の箇所国立・公立・私立別に学校名等を入力してください。

③ 「(5)高等学校別科」

イ 県内には高等学校別科は設置されていません。

ロ 県外への進学者がいる場合は、別枠となっている県外進学先の箇所に学校名等を入力してください。

④ 「(6)高等専門学校」

イ 県内においては、仙台高等専門学校が該当します。

ロ 県外への進学者がいる場合は、別枠となっている県外進学先の箇所に学校名等を入力してください。

⑤ 「(7)特別支援学校」

イ 高等部への進学者数のみ入力してください。

ロ 県外への進学者がいる場合は、別枠となっている県外進学先の箇所に国立・公立・私立別に学校名等を入力してください。

(4) 調査票「6ページ(参考)学校基本調査(文科省)」関係

このページに入力項目はありません。本調査1～5ページの値を、学校基本調査(文科省)の「卒業後の状況調査票(中学校)」の「8」「9」にレイアウトを合わせた参考シートとなりますので、学校基本調査(文科省)と本調査の整合を図る際にご活用ください。

※ 特別支援学校及び中等教育学校の学校基本調査(文科省)様式は項目が若干異なりますので御留意願います。

なお、このページは学校基本調査(文科省)の「卒業後の状況調査票(中学校)」に自動で反映されません。また、学校基本調査(文科省)の「卒業後の状況調査票(中学校)」には独自の項目がありますので、別途確認の上、オンラインシステムで入力してください。

(5) 調査票「7ページ エラーチェック」関係

このページに入力項目はありません。提出前に、基本的な誤りがないかどうか確認する際に御活用ください。

3 提出方法及び提出書類

(1) 以下を電子メールに添付し、宮城県教育庁高校教育創造室高校教育創造班宛て送信してください。

※①はExcel、②及び③はデータ（Excel、画像、PDF等）により提出

① 【全ての学校】作成した調査票

② 【全ての学校】卒業式当日又は卒業人数の分かる日の「学校日誌」等の写し

※ 学校日誌等の写しの上部に「学校調査番号・学校名」を記入してください。

※ 中学校、義務教育学校及び中等教育学校は、特別支援学級の卒業者がいる場合、「学校日誌」に卒業生の男女別人数がわかるように記入してください

※ 特別支援学校は、学校日誌に卒業生の男女別人数がわかるように記入してください。

※ 卒業人数の確認に使用しますので、個人情報に当たる記載については、適宜削除等していただいても構いません。

③ 【国立及び私立学校のみ】学校基本調査（文科省）の「卒業後の状況調査票（中学校）」

(2) 提出先

宮城県教育庁高校教育創造室高校教育創造班

アドレス：kokyosoks@pref.miyagi.lg.jp

（※ko「u」kyo「u」soks@ではありません※「u」は入らない）

件名：【▲▲▲▲○○学校】卒後調査

（▲▲▲▲に学校調査番号、○○に学校名を入力してください）

※ 提出した調査票等は、控えとして保管してください。送信いただいた内容について、確認のため、こちらから問い合わせをさせていただく場合があります。

<提出に当たってのお願い>

本手引きの6ページ「Ⅲ 参考資料」や7ページ「Ⅳ チェックリスト」、調査票の6ページ「(参考) 学校基本調査（文科省）」や7ページ「エラーチェック」等を活用し、入力等の漏れや誤りが無いよう作成への御協力をお願いいたします。

なお、学校基本調査（文科省）の「卒業後の状況調査票（中学校）」と照らして、内容に不明な点等がある場合は、お問い合わせの上、確認をさせていただきますので、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Ⅲ 参考資料

➤ A 高等学校等進学者＞高等学校本科＞通信制⑥⑦

以下のような広域通信制高校は、調査票5ページ県外進学先(3)-①「県外私立」に入力します。

(仙台キャンパスや仙台学習センター等であっても、本校のある都道府県が所在地となります。)

・通信制課程（私立）

進路先(例)		入力する学校名	本校所在地	備考
クラーク記念国際高等学校仙台キャンパス	通信制高校	クラーク記念国際高等学校	北海道	県外私立
星槎国際高等学校仙台学習センター	通信制高校	星槎国際高等学校	北海道	
とわの森三愛高等学校（通信制課程）	通信制高校	とわの森三愛高等学校	北海道	
北海道芸術高等学校仙台サテライト	通信制高校	北海道芸術高等学校	北海道	
ルネサンス高等学校	通信制高校	ルネサンス高等学校	茨城県	
鹿島学園高等学校仙台中央キャンパス	通信制高校	鹿島学園高等学校	茨城県	
NHK学園高等学校	通信制高校	NHK学園高等学校	東京都	
科学技術学園高等学校	通信制高校	科学技術学園高等学校	東京都	
あずさ第一高等学校	通信制高校	あずさ第一高等学校	千葉県	
日本航空高等学校	通信制高校	日本航空高等学校	山梨県	
飛鳥未来高等学校仙台校	通信制高校	飛鳥未来高等学校	奈良県	
明蓬館高等学校	通信制高校	明蓬館高等学校	福岡県	
ヒューマンキャンパス高等学校仙台学習センター	通信制高校	ヒューマンキャンパス高等学校	沖縄県	
N高等学校仙台キャンパス	通信制高校	N高等学校	沖縄県	
KTC中央高等学院仙台キャンパス	サポート校	屋久島おおぞら高等学校	鹿児島県	
KTCおおぞら高等学院	サポート校	屋久島おおぞら高等学校	鹿児島県	
第一学院高校仙台学習センター	サポート校	第一学院高等学校	茨城県	

※ 通信制サポート校とは、通信制高校に在籍する生徒に対して、3年間で卒業ができるよう単位取得・進級などに必要とされる支援を行う教育施設のことです。学校教育法で定められた法的な「学校」としての認可を受けていないので、高卒の資格取得をするためには通信制高校に同時に入学が必要となります。

※ 平成29年4月に開校した「飛鳥未来きずな高等学校登米本校」への進学者は県内通信制高校私立に計上してください。（「飛鳥未来高等学校」と「飛鳥未来きずな高等学校」は異なりますので御留意願います。）

・通信制課程（公立）

進路先		入力する学校名	所在地	備考
陸上自衛隊高等工科学校	通信制高校	神奈川県立横浜修悠館高等学校	神奈川県	県外公立

※②もあわせて入力してください。また、学校基本調査（文科省）の「卒業後の状況調査票（中学校）」の「10 就業先の産業別就職者数」にも入力願います。

➤ B 専修学校（高等課程進学者）⑬

学校名	学校名
赤門自動車整備大学校高等課程（三級自動車整備士科）	東北芸術高等専修学校高等課程（総合芸術学科）
仙台市医師会看護専門学校高等課程（准看護学科）	東北芸術高等専修学校高等課程（美容師学科）
佐沼ファッション専門学校高等課程（服装テクニカル科）	気仙沼リアス調理専門学校高等課程（調理師本科）

➤ C 専修学校等入学者

・各種学校 ⑮（下記は例示。その他の学校については、県総務部私学・公益法人課の公式 Web サイトを参照。）

学校名	学校名
各医師会附属准看護学校	東北インターナショナルスクール（高等科）
東北愛犬専門学院（トリマー学科）	東北朝鮮初中高級学校（高等部）

➤ D 公共職業能力開発施設等 ⑯

学校名
宮城県が設置する高等技術専門校（仙台、白石、大崎、石巻、気仙沼）
国立県営宮城障害者職業能力開発校

IV チェックリスト

※ 学校基本調査(文科省)の「卒業後の状況調査票(中学校)」については、以下「【学基卒】」と標記しています。

※ 値が「0」の項目は、入力不要です(空欄のままで結構です)。

項目	チェック	チェック(確認)事項
全体	<input type="checkbox"/>	・令和7年5月1日現在の内容で入力していますか。
学校調査番号等	<input type="checkbox"/>	・学校調査番号、学校名、電話番号、校長氏名、記入者職・氏名に誤りはありませんか。
調査票「1ページ」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・⑰、⑲、⑳に該当する値を入力していますか。 ※ 陸上自衛隊への就職者がいる場合、㉔に入力すること。 → 5ページ(3)-㉔県外公立にも記入(神奈川県立横浜修悠館高等学校・神奈川県のみ該当)。 ・「(8)専修学校等進学者・入学者の状況」の該当する区分に男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。また、備考に内訳(学校名・学科名等)を記入していますか。 ・「(9)左記以外の者の内訳」の該当する区分に男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。また、備考に内訳(留学国名、入所施設名、予備校名等)を記入していますか。
調査票「2ページ」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・「(1)全日制課程(高等学校) 国立県外進学先」に該当する学校名、所在都道府県名、進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ・「(1)全日制課程(高等学校) 公立」の該当する区分に進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。
調査票「3ページ」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・「(1)全日制課程(高等学校) 公立」の該当する区分に進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ・「(1)全日制課程(高等学校) 公立県外進学先」に該当する学校名、所在都道府県名、進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。
調査票「4ページ」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・「(1)全日制課程(高等学校) 私立」の該当する区分に進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ・「(1)全日制課程(高等学校) 私立県外進学先」に該当する学校名、所在都道府県名、進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ・「(2)定時制課程(高等学校)」の該当する区分に進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。

調査票「4ページ」	□	<ul style="list-style-type: none"> ・「(2) 定時制課程（高等学校） 県外進学先」に該当する学校名、所在都道府県名、進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。
調査票「5ページ」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・「(3) 通信制課程」の該当する区分に進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ・「(3) 通信制課程 県外進学先 (3)-①県外私立」に該当する学校名(本校名)、<u>本校</u>所在都道府県名、進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ・「(3) 通信制課程 県外進学先 (3)-②県外公立」に該当する学校名、所在都道府県名、進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ※陸上自衛隊への就職者がいる場合、ここに入力すること。 ・「(4) 中等教育学校(後期課程) 県外進学先」に該当する学校名、所在都道府県名、進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ・「(5) 高等学科別科 県外進学先」に該当する学校名、所在都道府県名、進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ・「(6) 高等専門学校」の該当する区分に進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ・「(6) 高等専門学校 県外進学先」に該当する学校名、所在都道府県名、進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ・「(7) 特別支援学校」の該当する区分に進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。 ・「特別支援学校 県外進学先」に該当する学校名、所在都道府県名、進学者数の男女別内訳及び特別支援学級卒の男女別内訳を入力していますか。
調査票「6ページ」	□	<ul style="list-style-type: none"> ・【学基卒】「8」「9」と数値が一致していますか。 ※ 【学基卒】独自の項目については、空欄となっています。別途確認の上、【学基卒】に入力してください。

<p>【学基卒】</p> <p>※以下図参照</p>	<p>□</p> <p>□</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「8 A 高等学校進学者等(※通信制を除く)」 ≤ 「10 入学志願者数」となっていますか。 ※ 高等学校(本科)へ出願したが、実際は専修学校や通信制に入学した、浪人した等があるので「≤」となります。出願していないのに高等学校に進学する(「>」)、ということはありません。 ※ 複数の学校や課程に出願した場合は、実際に進学した方又は第一志望の方(不合格の場合)の一つのみに計上します。 ※ 「10 入学志願者数」には通信制課程のみに出願した者は計上しません。ただし、通信制課程と全日制課程等の両方に出願し、通信制課程に進学した場合は、全日制課程等に計上します。 「11 就職者の産業別就職者数(再掲)」に内訳を入力していますか。 ※ 陸上自衛隊就職者がいる場合、「第3次産業」の「県外」に入力すること。
----------------------------	-------------------	---

※【学基卒】チェック箇所図

入学者(※通信制は除く) ≤ 入学志願者となっているか

「E 就職者等」 「(再掲)左記 A、B、C、Dのうち就職している者」の内訳を入力している

All

【学校日誌等写しについて】

卒業生数分かる「学校日誌」等の写しを提出いただくにあたり、特別支援学級の卒業生数の男女別内訳を書き込んだ上で提出いただきますようお願いいたします。（本調査の根拠資料として審査時に使用し、審査後は3年間高校教育創造室で保存することとなります。）

記入例：

三 年	1	18 ()	15 ()	33 ()		0
	2	18 ()	16 ()	34 ()		0
	3	18 ()	16 ()	34 ()		0
	4	18 ()	16 ()	34 ()		0
	5	19 ()	15 ()	34 ()		0
	6	18 ()	15 ()	33 ()		0
	小計	109 ()	93 ()	202 ()		0
特別 支援 学級	1	2 ()	2 ()	4 ()		
	2	4 ()		4 ()		
	3	特支卒業生	男 女 計	2 0 (2)		
	4	卒業生合計		93 ()	204 ()	
	5					
小計	6 ()	2 ()	8 ()		2	
合計	328 ()	295 ()	623 ()		2/	

特別支援学級欄の余白箇所等に、
 <特支卒業生>
 男〇人、女〇人、計〇人
 <卒業生合計(3年生+特支卒業生)>
 男〇人、女〇人、計〇人
 と書き込んでください。

※ 卒業生数の確認に使用しますので、個人情報に当たる記載については、適宜削除等していただいても構いません。